

## 令和4年度第2回森町地域公共交通会議 議事録

日 時 令和4年8月2日(火) 14:30～

場 所 森町公民館 1階大会議室

出席者 別添委員会名簿のとおり

概 要 以下のとおり

### 1. 開 会

### 2. 会長挨拶

- ・長瀬副町長より挨拶。

※森町地域公共交通会議設置要綱（以下、要綱という。）第5条第2項により、会長は森町副町長が務める。

### 3. 議 事

#### ①実証運行計画（案）及び実証運行経路（案）並びにダイヤ表（案）について

- ・ 別途資料により説明

【深川委員】 資料内に掲載されている町所有の車両を活用することだが、実証運行の車両であることが分かるようなステッカーを貼るなど、住民が見て分かるような周知の工夫が必要ではないか。

【事務局】 ご指摘の車両のPRについては、車両本体に貼るなどの方法を検討しながら、実証運行であることが分かるような周知を実施する。

併せて、運行地区の対象となる濁川地区、駒ヶ岳・赤井川地区には、個別で周知を実施するなども予定している。

【深川委員】 国道沿いのセブンイレブンに停車するのは、有効ではないか。

また、道の駅が駐車場所に含まれているが、施設の向かい側に停車することとなるか。

最後に、本町市街地内の駐車場所である「あつま～れ前」は馴染みがないため、再度、検討が必要と思う。

【事務局】 駐車場所については、現時点では本日示した内容で進める予定であるが、今後、ニーズとして出てくるようであれば、適宜、見直しを行う。

また、具体的にどこに停車するかは、道路管理者や施設管理者と十分な

協議の上、安全な箇所で乗降ができるように進める。

停留所名についても、再度、検討を実施する。

【酒井委員】 函館バスの停留所を一部活用する以外の停留所については、どのような示し方を考えているか。既存バス路線と混同しない、かつ、住民にとって分かりやすい明確な停留所が望ましい。

また、停留所の保全・除雪などについても、関係者とは協議しておく必要がある。

【事務局】 施設前に停車する停留所が多いため、バス停を置かないことも想定しているが、ご指摘の通り、住民にとって分かりやすい表示方法は何かを検討しながら進める。

函館バスをはじめとして、施設関係者などと十分な協議の上、実証運行に向けた準備を進める。

【小本委員】 バス停の設置について、既存のバス停の活用については、函館バスと協議していただければ問題ないと認識している。もし、新規に設置する場合は、要件・基準があるため、そちらを留意いただければ、基本的には問題ないと認識している。

【事務局】 施設前に停車する停留所が多いため、バス停を置かないことも想定しているが、ご指摘の通り、住民にとって分かりやすい表示方法は何かを検討しながら進める。

函館バスをはじめとして、施設関係者などと十分な協議の上、実証運行に向けた準備を進める。

【武田委員】 国道に設置するバス停について、道の駅の停車場所を道路上とする場合には、道路管理者である八雲出張所に問い合わせる必要がある。車輛の錯綜が多いことが想定されるため、検討を踏まえた上で判断が必要。

【事務局】 必要に応じて、適宜、ご相談させていただく。

【中澤委員】 福祉有償運送運転者講習を修了している事業者は、森町内で現状何社あるか。

【事務局】 事務局では、町内に3社あると認識している。

【伊藤委員】 このバスは、予約の必要性など、どのように利用できるか。

また、利用方法の周知についても、着実な実施が必要。

【事務局】 予約は必要なく、決まった時間に、バス停に立ち寄るため、そこで乗降していただくのが基本的な利用方法となるほか、フリー乗降区間も設けて

いるため、手を上げていただくことでも利用できる。

周知についても、冒頭で回答した通り、運行地区の対象となる濁川地区、駒ヶ岳・赤井川地区には、個別で周知を実施するなども予定している。

【深川委員】 濁川線、駒ヶ岳・赤井川線ともに本町市街地内を運行する経路となっているが、市街地に居住する町民も利用できるのか。

【事務局】 市街地に居住する町民も利用できるため、町民には積極的な利用をいただきたいと思っている。

【酒井委員】 運行車両の乗り降りのしやすさを創出する際には、法律等で要件・基準が決まっているため、函館運輸支局に問合せをいただければ、判断できるので、適宜、ご相談いただきたい。

【事務局】 車両本体の改造等は想定していないが、運行の方法なども含めて、函館運輸支局には様々、ご相談をお願いしたい。

## ②監査委員の選出について

- ・ 事務局より深川委員を任命したいことを説明
- ・ 深川委員含め、出席委員が就任に了承

## ③NPO法人まちづくり支援センター 代表理事 為国 孝敏 氏 総括

- ・ 事務局は実証運行が滞りなく実施できるよう、運行事業者の選定など、必要な手続きを円滑に進めていただきたい
- ・ 本町市街地に居住する町民も利用できるため、委員の皆様を含め、周知等にご協力いただき、利用につながると良い
- ・ 意見のあった運行車両の分かりやすさについても、事務局には検討いただき、町民が愛着を持ち、分かりやすい車両の実現に向けた工夫なども検討いただきたい
- ・ フリー乗降は慣れていないと利用が難しいことが想定されるため、町民が利用しやすい、運転手にフリー乗降区間で乗りたい町民がいることが伝わりやすい工夫も必要である
- ・ 委員の皆様には、周知も含め、今後の動向を注視いただき、意義のある実証運行に向けたご協力をお願いしたい

## 4. その他

【事務局】 次回の交通会議は、来年1月を予定し、必要な情報提供等があれば、適宜、実施させていただく

## 5. 閉会